



令和5年
6月7日(水)

充実の六月とするために

三年生修学旅行につきましては、何かとご理解ご協力いただき、誠にありがとうございます。一日違いで新幹線運休の前に帰着できましたが、次年度以降に向けての教訓としなければならぬと感じた次第です。

生徒たちの姿を見て、グループでの活動で互いに気遣いながら、比較的まとまって行動できたのではないかと思います。また、お世話になった方々へのお礼や挨拶などの面でも精神的な成長の跡がうかがえたとも感じました。

なお、各行程での様子については学校ホームページのほか、下段にも一部を記載させていただきました。二年生「ブレ社会人セミナー」、一年生「防災教室」とあわせてご覧ください。

さて、十四日から期末テストが始まります。「学問に王道なし」という言葉が示す通り、勉強は、「時間をかける」「繰り返し」ということを抜きにはできない側面があると思います。

しかし、「やり方を工夫する」ということも大事なことです。文章を表や図にしたり、「共通点」や「相違点」を整理したり、わずかな「違い」や「ずれ」に着目してまとめたりするのも、一方法です。自分の記憶の癖が掴めるよう、いろいろな方法を試して頑張ってくださいと思います。

本年度は「挑越」です！

本年度生徒会スローガンが「挑越〜一歩ずつ前へ〜」に決定しました。昨日、生徒会本部役員が校長室を訪れ、決定までの経緯や思いを伝えてくれました。それによると、「自分で限界を決めずに、何事にも挑戦して、今の自分を越えられるように、一歩ずつ前進していこう」という意味を込めたということでした。

始業式に「苦手な分野、あまり好きでない教科でもあっても、学びをミミリでも前進させよう！」と語りかけたことが心の片隅に残っていてくれたのかもしれない。体育祭、文化祭といった生徒会行事をはじめ、来週に迫った修学旅行においても、また、日々の授業や部活動の中で、「挑越」する気概に期待します。

為すことによって学ぶ

【三年生】五月三十日〜六月一日、修学旅行においては、デイズニールランドや浅草・上野、東京スカイツリーの分散学習など定番のコースだけでなく、学びの要素満載の見学地での体験や見学がありました。

「そなエリア東京」では、防災体験学習ツアーに参加しました。震度8の凄まじさを想定した動画などを通じて、かなりインパクトを受けたようでした。思い出の中に確かな防災意識が織り込まれたのではないのでしょうか。



日本科学未来館は、地球・未来・世界を考えることを基本コンセプトとした博物館でした。

「持続可能性」や「生物の多様性」のほか、「未来逆算思考」などの深いテーマが隠されています。これらについて、今後の学校での学びに繋がって欲しいと思います。



【二年生】三十日、職場体験学習に向けて、様々な分野でモノづくりに通じた社会貢献を積極的に展開されてみえる、地元四日市の企業「中村製作所」の社長様のお話を伺いました。



「空気以外はなんでも削ります」というモットーのもと、デイズニールランドのアトラクションの製造やロケットやロボットの部品づくりにも関わって見えるという話に驚き、大きな刺激を受けました。今後の羅針盤となることを期待します。

【一年生】二日、南消防署の方々を講師にお招きし、胸骨圧迫による心肺蘇生法を学びました。生徒たちは、こうした方法で命を救えることに驚きを感じながら、実習に取り組みました。



受講後、「救命講習修了カード」を全員に交付していただきました。

